

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 株式会社ウチヤマホールディングス 上場取引所 大
 コード番号 6059 URL http://www.uchiyama-gr.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山文治
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長 (氏名) 山本武博 (TEL) 093-551-0002
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,630	—	365	—	395	—	211	—
24年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 208百万円(—%) 24年3月期第1四半期 — 百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	48.05	47.70
24年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成24年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	23,642	9,422	39.9
24年3月期	21,365	8,047	37.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 9,422百万円 24年3月期 8,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	100.00	—	20.00	120.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 当社は、平成23年11月11日開催の臨時取締役会決議に基づき、平成23年12月7日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、平成24年3月期の第2四半期末配当金については、当該株式分割前の実績を記載しております。なお、平成24年3月期の期末配当金は当該株式分割後で記載しております。これらの株式分割の影響を調整した場合の期末配当金については、後述の「株式分割に伴う配当の状況の遡及修正」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,572	13.3	950	13.1	902	△7.6	477	△23.4	106.71
通期	20,166	12.2	2,217	10.4	2,087	△12.0	1,101	△39.6	243.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	4,576,200株	24年3月期	3,666,000株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	35株	24年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	4,392,336株	24年3月期1Q	3,666,000株

(注) 当社は、平成23年11月11日開催の臨時取締役会決議に基づき、平成23年12月7日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、24年3月期1Qの期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

株式分割に伴う配当の状況の遡及修正

当社は、平成23年11月11日開催の臨時取締役会決議に基づき、平成23年12月7日付で、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の配当の状況は、以下のとおりであります。

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
24年3月期	—	円 銭 20.00	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 40.00	百万円 146	% 8.0
25年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		16.4

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかに持ち直しの動きが見られるものの、欧州経済減速の問題や円高の長期化などから、先行きに対する不透明感が払拭できない状況となりました。このような経営環境下におきまして、当社グループは、各事業セグメントにおいて目標を達成するために、外部環境の変化への対応を考慮しつつ、営業活動等を積極的に押し進めてまいりました。また、経費の見直しなどによるコスト削減を進めることで経営の効率化を行い業績の安定化をはかりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,630,993千円、営業利益は365,214千円、経常利益は395,193千円、四半期純利益は211,064千円となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

①介護事業

介護事業におきましては、5月に福岡県福岡市南区に住宅型有料老人ホーム「さわやかめぐり館」(40床)、6月に三重県鳥羽市に介護付有料老人ホーム(112床)とショートステイ(17床)の併設型施設「さわやかシーサイド鳥羽」を新規開設いたしました。これらにより、当第1四半期末時点での営業拠点は47カ所92事業所となりました。また、既存施設におきましては、空室を減らし、安定した入居を維持するため、近隣の病院や居宅介護支援事業所への訪問による連携の強化を推進しました。この結果、売上高は2,088,024千円、セグメント利益は242,052千円となりました。

②カラオケ事業

カラオケ事業におきましては、5月に大分県中津市に「コロケ倶楽部中津駅前店」(14室)を新規開店いたしました。これにより、当第1四半期末時点での店舗数は81店舗となりました。また、既存店舗におきましては、フードメニューの充実やランチタイムのBOXランチの販売促進などにより単価の向上がはかれたほか、6月より65歳以上向けの特典として「さわやかゴールドメンバーカード」を導入するなどして集客の増加に努めました。この結果、売上高は1,904,044千円、セグメント利益は265,642千円となりました。

③飲食事業

飲食事業におきましては、6月に「かんてきや中洲店」の業態変更を行い、「博多再生酒場」を開店いたしました。当第1四半期末時点での店舗数は26店舗となります。既存店舗におきましては、各店舗が女性客の宴会需要を見込み「女子会」専用のコースを設けて販売促進に注力したほか、一般顧客向けの宴会コースや月替わりメニューの充実をはかりました。また、従業員教育の強化に努め、サービスレベルの向上をはかりました。この結果、売上高は509,256千円、セグメント利益は53,992千円となりました。

④その他

その他におきましては、ホテル事業において、広告媒体を活用し、宿泊客の増加に努めたほか、日帰り入浴の利用率向上をはかりました。不動産事業では、賃貸マンションの管理業務などを中心に行っております。この結果、売上高は129,667千円、セグメント利益は12,512千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ2,276,927千円増加し、23,642,553千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より2,038,114千円増加し、10,427,606千円となりました。主な要因は、現金及び預金が増加したことです。

固定資産は、前連結会計年度末より238,813千円増加し、13,214,946千円となりました。主な要因は、建物及び構築物が増加したこと及びその他(長期預金)が減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ902,127千円増加し、14,220,544千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末より114,514千円減少し、6,471,897千円となりました。主な要因は、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、賞与引当金、ポイント引当金が増加したこと及び未払法人税等が減少したことによるものです。

固定負債は前連結会計年度末より1,016,642千円増加し、7,748,646千円となりました。主な要因は、長期借入金が増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より1,374,800千円増加し、9,422,009千円となりました。主な要因は、株式上場に伴い、資本金及び資本準備金が増加したことによるものです。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は39.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間においては、概ね計画通りに推移していることから、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,594,532	8,651,656
売掛金	962,222	974,802
商品	61,002	56,654
販売用不動産	14,683	14,683
貯蔵品	39	39
その他	762,791	739,646
貸倒引当金	△5,779	△9,875
流動資産合計	8,389,492	10,427,606
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,221,575	6,067,430
土地	2,910,323	2,910,323
その他(純額)	1,674,197	1,160,906
有形固定資産合計	9,806,096	10,138,660
無形固定資産		
投資その他の資産	41,002	51,583
その他	3,220,927	3,116,372
貸倒引当金	△91,893	△91,669
投資その他の資産合計	3,129,033	3,024,702
固定資産合計	12,976,133	13,214,946
資産合計	21,365,625	23,642,553
負債の部		
流動負債		
買掛金	297,227	247,832
短期借入金	2,405,800	2,438,000
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
1年内返済予定の長期借入金	1,219,656	1,390,298
未払法人税等	701,406	207,551
賞与引当金	127,047	198,900
ポイント引当金	156,083	217,322
その他	1,644,190	1,736,992
流動負債合計	6,586,412	6,471,897
固定負債		
社債	140,000	140,000
長期借入金	5,137,853	6,221,307
資産除去債務	—	13,791
その他	1,454,151	1,373,547
固定負債合計	6,732,004	7,748,646
負債合計	13,318,416	14,220,544

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	725,600	1,345,264
資本剰余金	1,179,557	1,799,221
利益剰余金	6,149,466	6,287,210
自己株式	—	△42
株主資本合計	8,054,623	9,431,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,081	△6,201
繰延ヘッジ損益	△4,333	△3,443
その他の包括利益累計額合計	△7,415	△9,644
純資産合計	8,047,208	9,422,009
負債純資産合計	21,365,625	23,642,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,630,993
売上原価	3,960,031
売上総利益	670,962
販売費及び一般管理費	
給料手当	69,503
賞与引当金繰入額	2,814
貸倒引当金繰入額	4,096
その他	229,333
販売費及び一般管理費合計	305,748
営業利益	365,214
営業外収益	
受取利息	2,291
受取配当金	531
受取手数料	29,506
補助金収入	36,190
その他	25,727
営業外収益合計	94,247
営業外費用	
支払利息	46,399
その他	17,868
営業外費用合計	64,267
経常利益	395,193
特別損失	
固定資産除却損	427
特別損失合計	427
税金等調整前四半期純利益	394,765
法人税、住民税及び事業税	203,385
法人税等調整額	△19,684
法人税等合計	183,701
少数株主損益調整前四半期純利益	211,064
四半期純利益	211,064

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	211,064
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△3,119
繰延ヘッジ損益	890
その他の包括利益合計	△2,229
四半期包括利益	208,834
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	208,834
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	介護事業	カラオケ 事業	飲食事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,088,024	1,904,044	509,256	4,501,325	129,667	4,630,993	—	4,630,993
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	308	8,866	9,174	32	9,206	△9,206	—
計	2,088,024	1,904,352	518,123	4,510,500	129,700	4,640,200	△9,206	4,630,993
セグメント利益	242,052	265,642	53,992	561,687	12,512	574,199	△208,985	365,214

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ホテル事業及び通信事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△208,985千円の内容は、セグメント間取引消去112,003千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△320,988千円であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年4月20日に株式会社大阪証券取引所JASDAQ市場(スタンダード)に上場いたしました。上場に当たり、平成24年4月19日に公募増資による払込が完了し、資本金及び資本準備金はそれぞれ612,720千円増加しております。また、大和証券株式会社を割当先とする第三者割当増資による株式の発行を行い、平成24年5月23日に払込が完了しており、資本金及び資本準備金はそれぞれ6,944千円増加しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ619,664千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金は1,345,264千円、資本剰余金は1,799,221千円となっております。